

【手術実績一覧 留意事項】

1. 対象手術手技を指導者のもとで20例以上、そのうち術者として10例以上経験している必要があります。
(指導者は本制度技術認定医であることが条件です。また手術実施日に指導者が本制度技術認定医ではない場合は手術症例に含まれません。)
2. 術式一覧(下記参照)の4部門(脳室内、血腫、下垂体、脊髄)のうち、2部門以上、合計10例以上経験している必要があります。
(内視鏡アシスト手術を除くものとする。なお術者、助手は問いません。)(但し、2018年度及び2019年度申請は移行措置期間とします。)
3. 病名についても記載してください。
4. 非常勤の施設で経験した手術症例も記載可能です。
5. 術者・助手の区別に丸をつけてください。
6. 手術実績は古いものから順に記載し、手術名が連続する場合は同上としてもかまいません。
同一手術での申請は術者2名、助手2名までとします。なお手術記録等の提出を求める場合があります。

【術式一覧】

脳室内:K154-3 定位脳腫瘍生検術

脳室内:K167 頭蓋内腫瘍摘出術

脳室内:K1691 頭蓋内腫瘍摘出術(松果体部腫瘍)

脳室内:K1692 頭蓋内腫瘍摘出術(その他のもの)

脳室内:K1741水頭症手術・脳室穿破術(神経内視鏡によるもの)

血腫:K164-5 内視鏡下脳内血腫除去術

下垂体:K171-2.1 内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術(下垂体腫瘍)

下垂体:K171-2.2 内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術(頭蓋底腫瘍)(下垂体腫瘍を除く。)

脊髄:K131-2 内視鏡下椎弓切除術

脊髄:K134-21内視鏡下椎間板摘出術(胸椎・腰椎前方摘出術)

脊髄:K134-22 内視鏡下椎間板摘出術(後方摘出術)

脊髄:K142-3 内視鏡下脊椎固定術(胸椎又は腰椎前方固定)

その他(補助的, 髄液瘻閉鎖術, 急性硬膜下血腫除去術, 慢性硬膜下血腫洗浄術など)

※術式については、術式一覧から該当するものを選択してください。

※術式一覧に該当する術式がない場合は「その他」を選択し、「補足情報」の欄に術式を記載してください。

手術に際し、補助的に内視鏡を使用した場合はどのように用いたかを記載してください。

